

会員投稿 『井の中の蛙が大海を少し覗いた』（その1）春日井市 岩田 尚之
序

井の中の蛙大海を知らず。されど天の高さを知る。大海も天の高さも知らぬ蛙がアメリカ近くの大海をほんの少し覗いた。2004年6月8日から24日までの17日間、細君とアメリカ・アナーバ市を拠点として、カナダの一部と、フロリダ・カリブ海（海とアメリカ・オランダ・フランス領の島々とバハマの島）をクルーズで訪ねた。アナーバには倅夫婦がいる。倅はT自動車へ勤めていて、M大学のビジネススクールに2年間のMBA企業留学中である。彼の長い夏休み（5～8月）に合わせて出かけていった。

アナーバ と デトロイト

アナーバはミシガン州、デトロイトとシカゴの間にある、デトロイトから1時間位シカゴから3時間位のところ。人口は11万人。M大学の学園都市。その時期（夏）は町中緑の芝と木々の中にあった。町の中に公園があるというより公園の中に町があるという感じの綺麗な町。治安は全米一という程良い。しかし、東京と比べ殺人4倍・強姦23倍・強盗75倍・自動車盗160倍。（10万人あたり）緯度は日本でいえば函館くらい。



ミシガンスタジアム

夜明けは6時位であるが夕暮れは9時過ぎ、昼間が長い。
ダントウンも含め高層の建物は少ない。町のかなり中心部に”ミシガンスタジアム”なるものがある。

全米最大というから多分世界最大の収容人員11万人のフットボールスタジアムである。国立競技場の倍近い青天井スタジアム。スタンドの建物は地上3階と見た。しかし外から見たら何の建物か分からない。これでアナーバ市の全人口を収容する大きさだ。その秘密は？横に広い訳ではない。グラウンドが地下の下の方にある。奥深い。感心した。

デトロイトはご存知車の町。GM・フォード・ダイムラークライスラーの本社工場・博物館が市と郊外に点在する。ルネサンス・センターは町一番のランドマーク。GMの本社もこの中。市民は95万人位、黒人が8割、治安は全米でも最も悪いと。東京と比べ殺人42倍・強姦74倍・強盗650倍・自動車盗2500倍。デトロイトを東西に94号線ハイウェイが走っている。これに西から東へ1番路2番路～が交差している。黒人の多くは9番路より西に居住し、10番路より東には白人の多くが住んでいると。頑張る黒人は何とか10番路より東へ住もうと一生懸命だそうである。余談。ブッシュ大統領の人種差別をなくす政策の一つに、学校の成績席次について、黒人は黒人以外と分けた？（一緒にしたのではない）というのがあるそうだ。この意味を考えてみてください。

カリブ海をクルーズ 8日間

タイタニックは昔の話であるが、豪華客船の旅という響きにはロマンを感じる。今回のクルーズも豪華客船であった。が、ロマンというより（費用の割には）贅沢さとゆとりを感じた。

アナーバから北へ1時間フリントへ、フリントから飛行機で南へ3時間フロリダ南東海岸のフォート・ローダデル（マイアミの北隣）がクルーズの出航地、ここから8日間で東カリブ海を回る。（緯度と時間でいえば、函館から札幌へ行き飛行機で沖縄へ、そしてクルーズでサイパン・グアムのイメージ。）

クルーズ船の名前は”CARIBBEAN PRINCESS”今年4月に就航。3100人乗り、290m、11.3万t。（因みに、一昨年三菱長崎造船所で火災にあった”SAPPHIRE PRINCESS”は姉妹船で、やはり今年5月に就航している。）初日、チェックイン（乗船手続き）。巨大な倉庫のようなところの奥に18カ所のチェックインカウンターが並んでいる。そのうちの只1つ「アメリカ・カナダ人以外」の窓口へ行く。他の窓口は沢山の人が列をつくっているがここだけは前に1組だけ。カード（ID・船室キー・船内クレジット兼用）を貰う。顔写真を撮られる。ステートルーム（我ら2人の船室）へ直行。11F 右舷前方海側のバルコニー付き。大きなWベット、TEL・TV・冷蔵庫、デスク・テーブル2・椅子3、クローゼットにはハンガーが40個ほども、洗面所・トイレ・シャワー（バスタブはなし）。いよいよ待望のクルーズの始まりを実感する。このとき14時半。ここまで昼食なしでかなりお腹ペコペコ。早速屋上のレストランへ行く。17時出航というのに、既に、もういくつものレストランも、屋上デッキのプールと周りのデッキチェアも水着の人人人。

ここで、下世話ながらお金のことを。（一人）クルーズ料金\$1010+船内全チップ\$10/日*7=\$1080也。これが8日間の最低必要な費用で、食べ物、プール、映画、シアター・クラブ・バーなどのショー等々全てタダ。船内のアルコール・コーラ等のジュース類、カジノ、土産物、ヨーガ・サイバーゴルフ・マッサージ等はカード支払い。船を下りて現地で使う費用は勿論別料金。これが、高いかそれとも安いかな？

2日目・3日目と6日目は終日クルーズ、即ち全てカリブ海の紺碧の海の上。今回のクルーズは殆どピーカン、天気には恵まれた。こういう日は朝から屋上デッキのプール・プール（14~18F）。

（来月号に続く）

黒人系の方は殆ど見ない。白人は何故ッ？と思える程デッキチェアで裸を太陽に当てまくって、寝ているかヘッドフォンか本を読んでいる。女性は若い人もお年寄りも超ビキニ、中にはブラの紐を外して。若い女性で目に付くのが、ヘソピアスとシール入墨。それにしても小錦丸みたいな男と女小錦みたいなものが多いこと。

60歳を超えると生まれて初めての経験・体験がかえって増える気がする。2日目の夕日が沈むころ、気がついて18Fのデッキから、360度の水平線を初めて見た。360度、島もなく、雲もない、海と空と水平線のみ。今思えば夜、360度の満天の星も見にいておけばよかったのにと。

2日目と6日目のディナーは”フォーマル”の指定。他の日は”スマートカジュアル”。当初フォーマルは男・タキシード、女・カクテルドレスなどと聞き及んでいて、はて！どうしたものか！と思案していたが、男・ダークビジネススーツ、女・フルレングスドレスでいいと分かりヤレヤレ。4日目と5日目はカリブ海の小島へ寄港。セント・トーマス。アメリカ領ヴァージン諸島の1つ。東西20Km・南北6Km程のリゾート島。車は何故か左側通行、速度制限表示はMPH。タクシーは4～5人掛ベンチシート4～5列の乗合型で個人料金。どこでも乗り降りできるが料金の協定はしっかりしてる。レンタカーで島を一回りする。昔カリブの海賊を捕らえて処刑したといわれる砦が博物館として残っている。

宝石類が免税で安かったらしい。ビックリしたのは、あるビーチで砂浜に突然体長7～80cmもあろうかと思うイグアナがでてきたこと。見るとあちこちから何匹もソロソロ、ビックリはしたがイグアナはたいそう臆病であった。

セント・マーティン。東西・南北とも17Km程のリゾート島。この島は北側がフランス領で南側がオランダ領（サンマルタン）。ここでもレンタカーで島を一周する。右側通行・Km/H。国境にゲートも検問所もない、パスポートもいらない。通貨はフランス領ではユーロ、だが払いはUS\$もOK。オランダ領はUS\$。フランス領のダウンタウンでは世界の名立たるブランドショップが目立つお洒落な通りとレストラン・マリーナが印象に残る。ビルはない。オランダ領ではホテルとカジノが目立つ。オランダのダウンタウンは露天の土産物やの一角が特徴的。



〈クルーズ船とセント・マーティン〉

ここで買った冗談Tシャツの紹介を1つ、女性のバストを15にも分けてイラストに夫々名を付けている。BEE STINGS・POINTERS・BLOCKBUSTERS・HAS BEENS・PEARS・BANANAS・HEADLIGHTS・PEACHES・CUCUMBERS・DOUBLE BUBBLE・WATERMELONS・CANTELOPES・FLAPJACKS・GUMDROPS・CORT HOOKS。イラストはトロピカルのご想像を。

7日目はバハマの無人島ビーチ。船は沖合いに停泊。船からビーチへはシャトルボートで往復、これが何とテンドー（救命ボート・エンジン付）5艘を本船から下ろして使っている。ビーチも海も大変に綺麗。ビーチボードにシュノーケル、船で日焼けした肌をしっかりと定着させて真黒、すっかりカリビアン。クルーズ、実に楽しかった。できることならもう一度してみたい。英語の身体障害者1級、せめて英語を聞ける耳があれば楽しさは何倍もあったであろう。

それにしても、2,000人もの乗客の内日本人らしきは我ら家族4人、アジア人らしきはインド人数人とみた。そして、クルーズはあちらこちらの国や町や地方を訪れることもさること乍ら、船に乗ってユッタリと過ごすことに大きな楽しみを見つけていると。

アメリカではクルーズがカリブ海以外でも大変盛んだそうである。お客さんは老若男女万遍ない。今回のプリンセス社ではクルーズ船が17隻ある内、今年3～5月に4隻も新造船を就航させている。カリブ海には大手が4社あるというが、何処も船があるだけお客さんが集まるとのこと。日本でもクルーズはある。然しこれほど人気があるとは思えない。先ず料金が途方に高い。老は兎も角、若青年が普段こんなに長くユトリの時間がとれるか？国民性の違いか？国土の広さの違いか？豊かさの違いか？価値観の違いか？考えさせられる。

了

17日間も旅行で家を離れたのは初めてである。この間、アメリカ・カナダの本土、フランス・オランダの領土、バハマと文字通り足掛け5カ国も踏み入れ、デジカメ写真は500枚を超えた。ナイアガラやゴルフ、各都市等々、井の中の蛙が少しの大海を見た偏見記を全部にしたら会員投稿欄が半年でも足りない。一部を紹介させて頂いた。

終わり